

京都芸術大学映画学科  
二〇二〇年度卒業制作展



映画

# 夏だまりの家

75分 監督：石井梨帆

ある年の秋。初深は、2年ぶりに実家である家に足を踏み入れる。その家は、祖母の死を境に留まり続けていた。やがて、変わらぬ場所にいる兄妹たちと、祖母と親交のあった少年と同じ屋根の下で生活を営み始める。

# ばちらぬん

65分 監督：東盛あいか

日本最西端の与那国島には消滅危機の言語がある。日本の端で静かに忘れられようとしている言葉、文化、歴史を私達はどこまで連れて行けるだろうか。場所を超え、時を超え、次元を超えて繋がりたい。生命力溢れる半ドキュメンタリーファンタジー。

# チリアクタ

48分 監督：小寺智也

街の片隅でせせせとゴミを回収するゴミ収集作業員の主人公・文成。毎日毎日、捨てても無くならないゴミを生きるために捨てる。ある日、離れ離れになっていた妹の美雨が文成の元へやってくる。文成は美雨を何故か遇らうが、兄と妹の過ぎた時間が動きだす。

# 翅

12分 監督：村田サスケ

正直者が馬鹿をみる。ルールは破ったもん勝ち。  
「ちゃんと映画を撮れた」「ちゃんと」ってなんだよ。  
泣いて詫びろ。

# 鯨波

32分 監督：立脇実季

お家に閉じこもっている女の子の様子を見に行く。ある日女の子から絵を授かった暁は、その絵を持ち、貴方を探しに行く。自死した女の子、残された絵。絵が、貴方と暁をつないでいく。戸の隙間から覗いた世界に飲み込まれた絶望は。生命に傷ついた幼さは。

# 絢交ぜ

56分 監督：佐藤修

大学の警備員をしている青年。青年はある日、森の奥へと進んでいく。青年は、内と外を行き来し、様々な視点と混じり合うことを知る。

論文

## 「推す」ということ／「愛する」ということ

作：武野美和

アイドルを「推す」ということはなにか、そして「愛する」ということはなにか。ジャニーズのアイドル達とそのファンについて考察し、作者自身がジャニーズファンであるという視点も活かして論じる。

脚本

## 僕らは、

作：新井陶馬

僕らだけの、偶然のつながりが、新しい出会いと変化をもたらすと信じて。ちっぽけな僕が勇気を出す。

展示

たまゆらなみかぜ

## 瑤響濤風

作：飯田匠海

普通、映像があると観客はそれを見ますが、この作品に至っては見ても見なくても良いものとして扱っています。アウトフォーカスした映像は正にその属われであり、音も同様に扱っています。人は目を閉じていても光を感じます。つまり映像は光として、音は振動として身体に情報を与え、空間で拡散を繰り返しています。

その他の作品

- ・19-1-117 (11分) 監督：鴨林輝直
- ・ロングヘアー (5分) 作：大橋真生 森川真帆
- ・纏う 作：辻野花
- ・歪み 作：森織世 松井美弥

- ・濾過された水と愛と、その他不純物＝言葉 作：岩田空
- ・What's the Movie costume?  
～映画衣裳ってなんですか?～ 作：佐野清弥子 豊川未悠

ゼミ・自主制作作品

- ・A-11 (37分) 監督：鴨林輝直
- ・うつしびと (36分) 監督：藤野昭輝
- ・LUMINA (35分) 監督：温少杰
- ・吸って、吐いて。(24分) 監督：山口紗也可

# 上映スケジュール

2/6(土)

10:30~『絢交ぜ』  
11:45~『ばちらぬん』  
13:15~『鯨波』  
14:10~『翅』  
14:40~『19-1-117』  
    &『ロングヘアー』  
15:20~『うつしひと』  
16:20~『チリアクタ』  
    &アフタートーク

2/7(日)

10:30~『翅』  
11:10~『鯨波』  
12:10~『纏う』  
12:45~『ばちらぬん』  
14:10~『チリアクタ』  
15:30~『吸って、吐いて。』  
16:25~『夏だまりの家』  
    &アフタートーク

2/8(月)

10:30~『ばちらぬん』  
12:10~『鯨波』  
13:10~『夏だまりの家』  
14:40~『チリアクタ』  
15:45~『絢交ぜ』  
16:55~『A-11』  
    &アフタートーク

2/9(火)

10:30~『絢交ぜ』  
11:45~『夏だまりの家』  
13:30~『LUMINA』  
14:25~『吸って、吐いて。』  
15:15~『翅』  
15:50~『チリアクタ』  
17:10~『鯨波』  
    &アフタートーク

2/10(水)

10:30~『チリアクタ』  
11:40~『ばちらぬん』  
13:10~『A-11』  
14:10~『絢交ぜ』  
15:25~『夏だまりの家』  
17:10~『翅』  
    &アフタートーク

2/11(木)

10:30~『夏だまりの家』  
12:10~『19-1-117』  
    &『ロングヘアー』  
12:45~『絢交ぜ』  
14:10~『鯨波』  
15:10~『翅』  
15:40~『うつしひと』  
16:35~『ばちらぬん』  
    &アフタートーク

2/12(金)

10:30~『鯨波』  
11:20~『チリアクタ』  
12:20~『ばちらぬん』  
13:50~『纏う』  
14:30~『夏だまりの家』  
16:10~『翅』  
16:40~『絢交ぜ』  
    &アフタートーク

2/13(土)

10:30~『翅』  
11:10~『絢交ぜ』  
12:25~『夏だまりの家』  
14:10~『チリアクタ』  
15:15~『鯨波』  
16:10~『ばちらぬん』  
17:30~『LUMINA』

2/14(日)

10:30~『夏だまりの家』  
12:10~『ばちらぬん』  
13:40~『翅』  
14:20~『チリアクタ』  
15:30~『絢交ぜ』  
16:50~『鯨波』

人間館B1F 映像ホールにて

監督×ゲストによるアフタートークは20分を予定しております。

上映日程  
2021年2月6日(土)~14日(日)

場所  
京都芸術大学 映像ホール(B1F)/高原校舎 (予約制)

オンライン配信webサイト  
takahara-dst

料金  
入場・視聴 無料



※スケジュールなど変更する可能性があります。  
また、予約制などの詳しい情報はwebサイトをご確認ください。

## ご挨拶

世界的パンデミックの年となった2020年。  
そして、抗うことのできない環境の中で生まれた数々の卒業制作作品。  
このような背景のある作品は、今の私たちに何を見せるのか。  
歴史の目撃者として、共に鑑賞いただければ幸いです。  
今年はこれまで同様に学内での上映・展示に加えて  
新たに、オンライン配信を行います。  
映像・脚本・展示を合わせ、全19作品。  
皆様のご来場を心からお待ちしております。

映画学科 4回生一同



京都芸術大学・瓜生山キャンパス

京都芸術大学・瓜生山キャンパス

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

- ・JR「京都駅」より  
市バス5系統/岩倉行  
「上終町京都造形芸大前」下車(所要時間約50分)
- ・京阪「出町柳駅」より  
市バス上終町3系統/上終町京都造形芸大前行  
「上終町京都造形芸大前」下車(所要時間約15分)
- ・叡山電車(京阪出町柳駅乗りかえ)茶山駅下車、徒歩約10分
- ・京阪「出町柳駅」より  
市バス上終町3系統/上終町京都造形芸大前行  
「上終町京都造形芸大前」下車(所要時間約15分)
- ・叡山電車(京阪出町柳駅乗りかえ)茶山駅下車、徒歩約10分